

第 36 回法人会全国青年の集い沖縄大会に参加して

青年部会長 西岡 稔晴

11 月 24 日・25 日に沖縄県の沖縄アリーナで行われた「法人会全国青年の集い沖縄大会」に参加してきました。大会期間中の沖縄はあいにくの雨。コロナ過での開催でしたが、全国の単位会から 1000 名以上の会員が参加していました。

24 日に行われた租税教育活動プレゼンテーションでは、12 の単位会から離島などの遠隔地への租税教育の行い方や、子供たちに税金の使い道を七夕の「願い事」として書いてもらい市長に届けて行政から実際の税金の使い道を示してもらうことや、YouTube チャンネルを開設して活動するなど新たな取り組みの発表がありました。また、青年部活動として力を入れている健康経営大賞では、5 つの青年部会と企業から発表がありました。

プレゼンテーションの後には、404 単位会の青年部会長が参加する部会長ウェルカムパーティーが開催され、エイサー演舞や MASA MAGIC によるマジックショーで会場が盛り上がりました。

25 日の早朝から行われた 2 年ぶりの部会長サミットでは、全国の単位会の現状と課題について議論し有意義な時間を過ごしました。また、同時刻には、今年初めて開催の会員交流分科会が行われておりましたが、本会からの参加はありませんでした。

午後からは記念講演として千葉大学医学部付属病院特任教授・産業医でもある吉村健佑氏による「財政健全化につながる！健康経営の実装と実践」を聴き、健康経営についての前向きな思考法について熱く学びました。大会式典では、租税教育活動の発表があり最優秀賞として熊本局連の鹿児島法人会による【租税教室～税でエールを～】が受賞されました。カードによるアクティブラーニングを実施しており、実際の政策と予算が記載された 7 枚のカードを使い 1 億円の予算内で優先したい政策を選んでもらうというシンプルな内容でした。

また、保護者をはじめとした地域の大人たちにも租税教育の輪を広げるなどの取り組みが学ぶべきところがありました。

健康経営大賞については、鹿児島鹿屋肝属法人会と島根県の株式会社きこりが受賞されました。鹿屋肝属法人会では、健康経営を進めていくための学びと実践そして共有による循環的な組織作りを、株式会社きこりでは林業における職業病予防の取組として、専門家とともにきこり体操を作成し従業員へのパフォーマンス向上と気づきを与えていました。

沖縄大会の閉会にあたり、次回開催地の山形から「為せば成る！～感謝と恩返しの思いを胸に～」のスローガンで開催される予定です。